

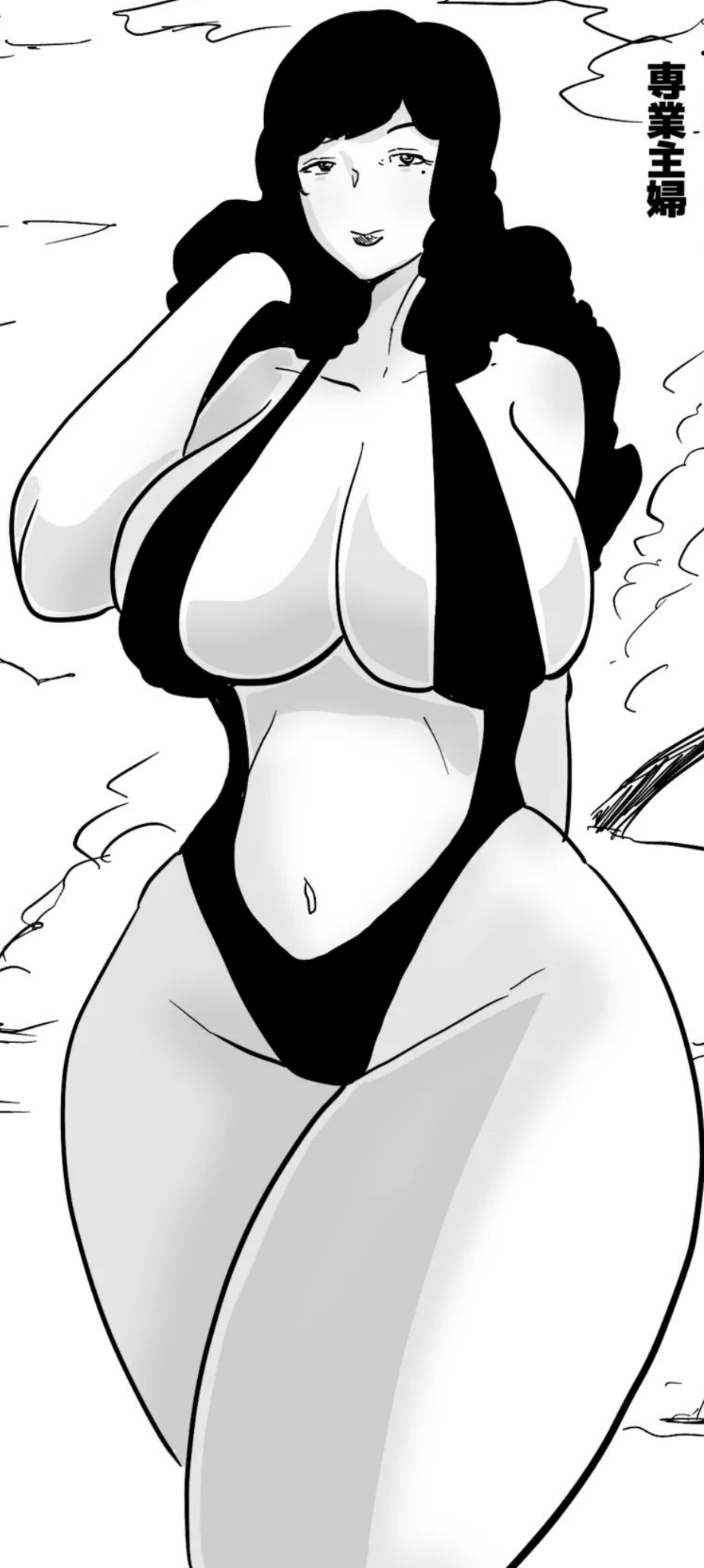
人妻ビーチナンパ

〜テントで汗だく浮気SEX〜



三橋ともよ 38歳
専業主婦

今日は夫の短期出張
に同行したついでの
一人バカンスを満喫中♡
夫には悪いけど
せっつかくだしん
思いっきり楽しん
じゃおうかな



と思つたら
まさかのナンパ!?

現地の子かしら...
気持ちは嬉しいけど
私も結婚してるし...
年齢も年齢だし...
それに粗野な感じの人は
ちよつと...怖いかも...



30
分
後

気づけば私は
経験した事の無い
若いチンポの獣の
ようなピストンに
喘ぎ悶えていた

「おばさん、マンコ
超締まって気持ち良いよ」

うぐうううう
んんんんんん
♡♡





「ああああん♡
はっ♡イグッ♡♡♡」

「あはああ……..
あつうい……♡」

うだるような暑さ
のテントの中で
見ず知らずの男の人に
無責任中出しをされ
私は果ててしまった…

その夜……
ホテルで夫と合流した私は
食事を済ませた後、すぐに
ベッドに入ったが

今日の獣のようなセックスを
思い出し
いけない事だとわかったつも
胸の高揚を感じ、眠る事
ができなかった……

結局…今日もビーチ
に来てしまった…

それもこんなに破廉恥な
水着をわざわざ買って来て…

こんな所を夫に見られたら
大変な事になつてしまう…
早く誰か私に声をかけて
くれないかしら…

いやいや…このまま何も
無ければ無い方がいいの…
昨日のアレは悪い夢…
そう…昨日のアレは…



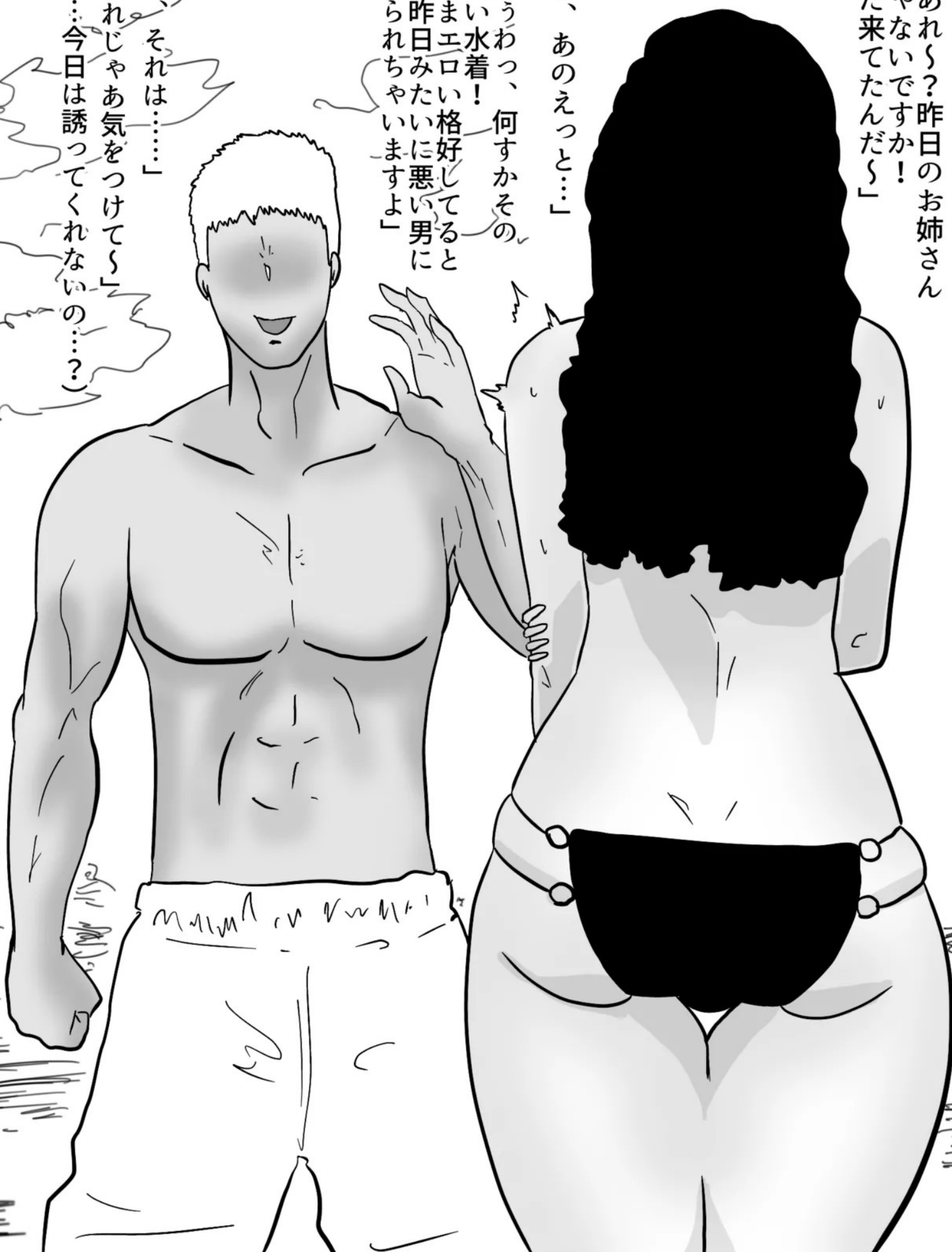
「あれ？昨日のお姉さん
じゃないですか！
また来てたんだ？」

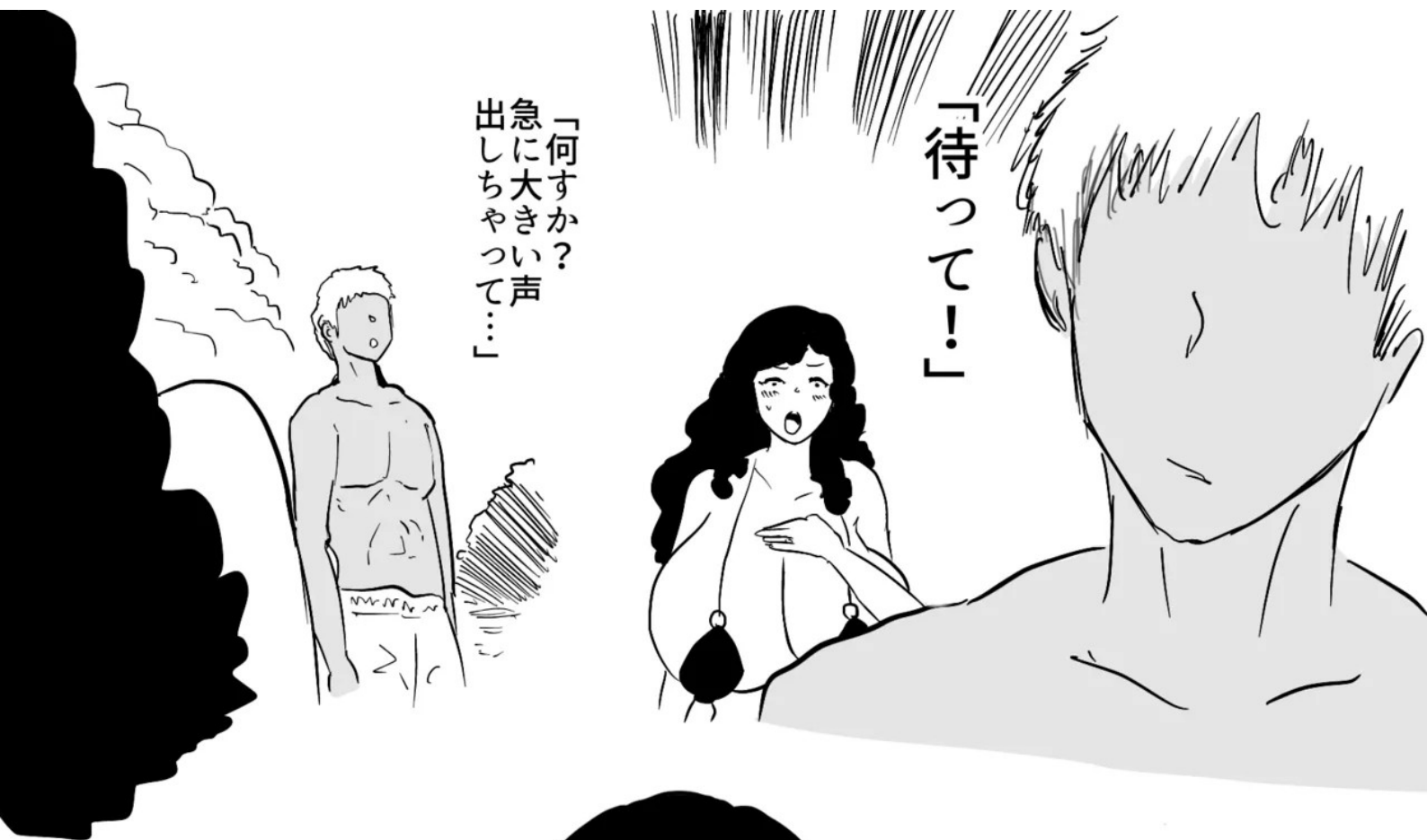
「あ、あのえつと…」

「ううわっ、何すかその
際どい水着！
あんまエロい格好してる
とまた昨日みたい
に悪い男に
パコられちゃい
ますよ」

「そ、それは……」

「それじゃあ
気をつけて」
(え…今日は誘
ってくれないの…?)





「待って！」

「何すか？
急に大きい声
出しちゃって…」

「今日も私を…」

「『ナンパ』してくれない…?」



彼はニヤリと笑うと
無言でテントのある茂み
へと向かって行き

私もまた、無言でそれに
追従した……

「ん……ふう……ん♡」

「へえ……奥さん良いとこの
会社の役員の奥さんなんだ」

「ん……ふっ♡ふっ♡」

「旦那さん働いてる
のにビーチで男漁りとか
流石セレブ妻だね」

「そんな事……言わないで……」

「何？やっぱエリート
の旦那さんは仕事ばっかで
夜の相手してくんないの？」

「……ん♡……ふう……♡」



「答えろは淫乱ババア
セックスはしてんのか
どうなんだ？あ？」

「んおおおお
してません！夫とは全然エッチ
してません♡♡♡♡♡」

「そうかそうか
だった俺が旦那さんと
できなかった分まで
気持ち良くしてやるよ」
「んおお♡んおお♡んお♡」
「お礼を言えお礼を！」
「お♡ありがとう♡ございます♡♡
ありがとう♡ごさいまひゅ♡♡♡♡♡」



「おばさん、俺のも
気持ち良くしてくれよ」

(大きい……!?
昨日は直ぐに挿入された
から気づかなかつたけど
こんな大きかったの……?)

「いつまで眺めてんの
早くフェラしてよフェラ」

ドキ
ドキ

ドキ

♡

ドキ

♡

7
和
♡

7 想
...
♡

「んもお……♡ん……ふ……♡」

「ハッ!」

「んー…なんか微妙」
おばさんフエラ下手だな
ちよつと四つん這いになつてよ」
「んん……………」
♡

「もつと奥まで
突っ込もうぜ〜♡」
「んぐううう!？」

「お〜〜〜良い感じ良い感じ
喉奥気持ちいいじゃん」

「んご♡んぼ♡おごおお♡」



「うっやべ！出る！」

「んぶあ！……ゲホ！ゲボオ！」

「あー勿体ねえ、イラマで
出しちまったよ……
けどセレブ人妻の顔にぶっかけ
るの優越感半端ねえわ」



「それじゃあそろそろ
本番行ってみようか」

「きゃあっ♡」

110

「昨日より激しくいく
から覚悟しといてね」
（こんなに乱暴にされてる
のに私：凄く濡れてる…）
「はい：獣のように激しく
突き上げてください：♡」

210

210





(すごい…こんなに奥にまで…)

[illegible]

「んん♡んん♡はあ♡あ♡あ♡♡あ♡♡」



「全然昨日よりノリノリじゃん
そんなに浮気セックスハマっちゃったの？」

「は♡い♡い♡い♡い♡い♡い♡
浮気セックススキもち♡
ですううう♡」

「あん♡あん♡はああん♡
きゃうん！♡あはああ♡」

「すげえ締め付け…もう出そうだ…
人妻マシコたまんねえううう」



千
木

「おほっ♡おおおん♡
んああああ♡気持ちいい♡
あん♡あん♡あん♡」

「もつと突いてえ♡
もつと激しくしてえ♡」

「ならもつとマンコ絞めろ
ババア!!」

「はい♡絞めます♡
ババアマンコもつとキツキツ
にしますからああ♡」

「おう♡おう♡おう♡
おう♡おう♡」



「んっ♡はあ……
あっ……♡」

エー!!

「んほごお!?! ひよお♡ほお♡
ん♡んあああ♡♡」

「オラオラへばってんじや
ねえぞババア!」

$$\begin{aligned} & \frac{\partial}{\partial t} \left(\frac{1}{2} \rho v^2 \right) \\ & \frac{\partial}{\partial x} \left(\frac{1}{2} \rho v^2 \right) \end{aligned}$$

「淫乱浮気ババア！
また中出しするけど良いな!？」

「はい♡私の子宮をザーメン
でいっぱいにしてえええ♡」

「うううううううううううん」

「う♡う♡う♡」





「日も暮れてきたしこれ
くらいかな
俺毎日ビーチにいるから
出張期間中暇な時また遊ぼうよ」

「はい...♡」

「喜んで...♡」



購入ありがとうございました！

感想・ご要望お待ちしております！

(ロボ娘もの描こうよ！元のくれーぷるに戻ってくれよ！等)



本作無断で配布、公開するアップロードする事を固くお断りします

